

平成30年度「春の里山で身近な生き物を探そう！」

日 時 平成31年3月23日（土） 午前9時00分から

行 程 財賀寺仁王門前 集合 → 財賀寺文殊堂・本堂 → 林道財賀線 → 財賀寺仁王門前 解散

当日の様子



今回の「里山で身近な生き物を探そう！」は財賀寺及び観音山周辺で開催されました。

当日は小学生から一般の方まで10人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸さんと里山に生息する昆虫や植物などを観察しました。

集合場所となった財賀寺の仁王門前から文殊堂や本堂などを巡った後、林道に出て観音山周辺で見られる植物を観察しました。財賀寺周辺ではヒノキやスギの木がたくさん見られますが、元々はシイの森でヒメハルゼミの生息地になっていることを教えてくださいました。

また、東海自然遊歩道利用者駐車場付近では、タチツボスミレ、キランソウ、カキドオシ、ムラサキケマンなど、紫色の花を咲かせる植物がひとところにみられ、それぞれの花の微妙な色合いの違いを見比べることができました。



↑ コブキサルノコシカケを手にとって観察



↑ ヒノキの木と檜皮を観察



↑キランソウ



↑サカキとヒノキバヤドリギ



↑マキノスミレ



↑スルガテンナンショウ

観察した主な植物等

スギ、ヒノキ、フキ、キランソウ、カキドオシ、ヨモギ、ミチタネツケバナ、タチツボスミレ、ムラサキケマン、オランダミミナグサ、キュウリグサ、ヤブツバキ、オオバタネツケバナ、ネコノメソウ、クマワラビ、リョウメンシダ、ミドリハコベ、シャガ、クラマゴケ、マンリョウ、ツバキ、シイノキ、クモラン、ヒメスミレ、スギゴケ、モウソウチク、コフキサルノコシカケ、ヤブコウジ、サカキ、ヒノキバヤドリギ、シキミ、ネジバナ、ホソバシャクナゲ、イズセンリョウ、ハナミョウガ、イノデ、ニガイチゴ、マキノスミレ、スルガテンナンショウ、フユノハナワラビ、フユイチゴ、マダケ、メダケ、アマクサシダ、アベマキ、ウラジロ 他

観察した主な生物

アリジゴク（昆虫）、スカシダワラ（クスサンの繭） 他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・花の名前、木の名前、その他色々勉強になりました。
- ・植物のことをいろいろ知れたので、とてもうれしかったです。

などのご意見をいただきました。